

【専門基礎分野】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
解剖生理学 I (人体の構造)	1	30	1	1
講師	病理診断医師・リウマチ科医師			
講義目的	人体の発生と構造、生命現象を学び、骨・筋系の構造と機能を理解し、看護実践の基礎とする。運動系の障害を学ぶ基礎とする。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	人体解剖学 人体の大要と解剖学用語	講義		
2	人体の素材としての細胞・組織 細胞の構造 核 細胞膜と細胞質 細胞小器官と細胞骨格	講義		
3	人体の素材としての細胞・組織 細胞を構成する物質とエネルギーの生成 核酸とタンパク質の合成 細胞の増殖と染色体 染色体とゲノム	講義		
4	人体の素材としての細胞・組織 分化した細胞がつくる組織 上皮組織 筋組織 結合組織 神経組織	講義		
5	構造と機能からみた人体 構造からみた人体 人体の区分 人体の形状 機能からみた人体 内部環境と恒常性	講義		
6	骨格とは	講義		
7	骨の連結とは	講義		
8	骨格筋	講義		
9	体幹の骨格と筋	講義		
10	上肢の骨格と筋	講義		
11	下肢の骨格と筋	講義		
12	頭頸部の骨格と筋	講義		
13	筋の収縮	講義		
14	筋の収縮	講義		
15	まとめ	講義	(45分)	
16	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 医学書院 新版 からだの地図帳 講談社			
評価方法	筆記試験			

【専門基礎分野】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
解剖生理学Ⅱ(呼吸・循環)	1	30	1	1
講師	呼吸器内科医師・循環器科医師			
講義目的	呼吸・循環系の臓器の位置・名称・構造と機能を理解し、呼吸・循環系の障害を学ぶ基礎とする。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	呼吸器の構造 上気道 下気道と肺	講義		
2	呼吸器の構造 胸膜 縦隔	講義		
3	呼吸器の構造 呼吸筋の構造	講義		
4	呼吸のしくみ 換気	講義		
5	呼吸のしくみ 呼吸運動	講義		
6	呼吸のしくみ 呼吸調節	講義		
7	呼吸器系の病態生理 換気障害 拡散障害 換気血流比不均等 右-左短絡	講義		
8	心臓 心臓の構造	講義		
9	心臓 心臓の機能	講義		
10	心臓 刺激伝導系	講義		
11	心臓 心機能の調節	講義		
12	血管系 動脈 静脈 毛細血管	講義		
13	血管系 肺循環 体循環	講義		
14	血管系 冠循環 胎児の血液循環	講義		
15	リンパ系 リンパ リンパ管の構造と機能	講義	(45分)	
16	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 医学書院 新版 からだの地図帳 講談社			
評価方法	筆記試験			

【専門基礎分野】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
解剖生理学Ⅲ(消化・排泄・内分泌・生殖)	1	30	1	1
講師	消化器科医師・腎臓内科医師・産婦人科医師・内分泌代謝内科医師			
講義目的	消化器系・腎・泌尿器・内分泌系・生殖器系の臓器の位置・名称・構造と機能を理解し、消化器系・腎・泌尿器・内分泌系・生殖器系の障害を学ぶ基礎とする。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	消化器系の構造 口腔 歯 唾液腺 咽頭 喉頭	講義		
2	消化器系の構造 食道 胃	講義		
3	消化器系の構造 小腸 大腸	講義		
4	消化器系の構造 肝臓 胆嚢 膵臓	講義		
5	消化器系の構造 腹膜 腹膜腔	講義	(45分)	
6	消化器系の機能 口腔 食道 胃	講義		
7	消化器系の機能 小腸 大腸	講義		
8	消化器系の機能 肝臓 胆嚢	講義		
9	腎臓の構造	講義		
10	腎臓の機能 尿の生成と腎臓のはたらき	講義		
11	腎臓の機能 排尿と尿の成分	講義		
12	腎臓の機能 体液の調節	講義		
13	内分泌 ホルモン	講義		
14	男性生殖器の機能と構造 精巣 精路 付属生殖腺 男性外陰部	講義		
15	女性生殖器系の構造と機能 卵巣 卵管 子宮 卵巣 膣 女性外陰部 会陰 乳房	講義		
16	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 医学書院 新版 からだの地図帳 講談社			
評価方法	筆記試験			

【専門基礎分野】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
解剖生理学Ⅳ(調節・免疫・感覚)		1	30	1	1
講師	脳血管内科医師・血液内科医師				
講義目的	神経系、血液・免疫系、感覚器系の臓器の位置・名称・構造と機能を理解し、神経系、血液・免疫系、感覚器系の障害を学ぶ基礎とする。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	神経系の区分と発生 中枢神経系(脊髄 脳 伝導部)	講義			
2	神経系の区分と発生 中枢神経系(脊髄 脳 伝導部)	講義			
3	神経系の区分と発生 末梢神経系(脊髄神経 脳神経 自律神経系)	講義			
4	神経系の区分と発生 末梢神経系(脊髄神経 脳神経 自律神経系)	講義			
5	神経系の生理 神経細胞の作用 末梢神経系 中枢神経系	講義			
6	感覚器の構造と機能 皮膚 筋・腱・関節の知覚神経	講義			
7	感覚器の構造と機能 味覚器、臭覚器	講義			
8	感覚器の構造と機能 聴覚及び平衡覚	講義			
9	感覚器の構造と機能 視覚	講義			
10	神経系・感覚器のまとめ	講義	(45分)		
11	血液の組成と機能	講義			
12	赤血球 白血球 血小板 リンパ球	講義			
13	血漿タンパク質と赤血球沈降	講義			
14	血液の凝固と線維素溶解 血液型	講義			
15	液性免疫 細胞性免疫	講義			
16	終講試験		(45分)		
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 医学書院 新版 からだの地図帳 講談社				
評価方法	筆記試験				

【専門基礎分野】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
生化学		1	30	1	1
講師	大学教授				
講義目的	人体の構成成分である化学物質の性状、その分布、及び代謝について学び、人間の生命現象を科学的に判断する能力を養う。現代医療を支えている生化学の最先端の知識についても学ぶ。				
時	授業内容	授業方法		備考	
1	細胞(生体の基本単位) 細胞 各細胞小器官	講義			
2	細胞(生体の基本単位) %濃度とモル濃度 酸と塩基(アルカリ)	講義			
3	細胞(生体の基本単位) pHについて 各細胞器官の役割	講義			
4	酵素 酵素の分類・応用 ビタミンと補酵素	講義			
5	糖質 糖質の構造 分類 役割	講義			
6	糖質 糖質の代謝 グルコースの分解 クエン酸回路	講義			
7	糖質 糖質の代謝 糖新生 電子伝達系	講義			
8	糖質 糖質の代謝 グリコーゲンの代謝 ペントースリン酸回路	講義			
9	脂質 脂質の構造・分類・役割 脂質の代謝 脂肪酸の β 酸化 生合成	講義			
10	脂質 コレステロールの合成	講義			
11	タンパク質について アミノ酸の構造・分類・役割	講義			
12	タンパク質について タンパク質の構造・分類・役割 代謝 消化・ α -ケト酸の生成・尿素回路	講義			
13	核酸 核酸の構造・分類・役割	講義			
14	核酸 遺伝情報 タンパク質の合成 転写 翻訳	講義			
15	エネルギー代謝と栄養	講義			
16	終講試験			(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[2] 生化学 医学書院				
評価方法	筆記試験				

【専門基礎分野】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
栄養学		1	15	1	2
講師	大学教授				
講義目的	人間の生命の維持、成長、臓器・組織の正常な機能の維持に必要な栄養の基礎を学習し、食事と健康の維持・回復のための臨床栄養を学ぶ。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	人間栄養学と看護	講義			
2	栄養素の種類と働き 糖質 脂質 たんぱく質	講義			
3	食物の消化 吸収	講義			
4	エネルギー代謝 ビタミン ミネラル	講義			
5	栄養ケア マネジメント	講義			
6	臨床栄養 病院食 疾患別食事療法の実際 循環器疾患患者の食事療法 消化器疾患患者の食事療法 栄養・代謝疾患患者の食事療法	講義			
7	臨床栄養 疾患別食事療法の実際 腎臓疾患患者の食事療法 血液疾患患者の食事療法 小児疾患患者の食事療法 妊娠高血圧症候群患者の食事療法 術前・術後患者の食事療法 栄養補給法	講義			
8	終講試験		(45分)		
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[3]栄養学 医学書院				
評価方法	筆記試験				

【専門基礎分野】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
病理学総論		1	15	1	2
講師	医師				
講義目的	炎症・腫瘍・奇形等についての病因と病変の特徴について学ぶ				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	病理学とは 病気の原因 内因・外因 病気の分類	講義			
2	循環障害 局所性 全身性 リンパ	講義			
3	炎症と免疫 炎症と免疫 免疫異常疾患 移植 感染症 病原体 宿主の防御機能 治療 予防	講義			
4	代謝障害 脂質代謝障害 糖質代謝障害 たんぱく質代謝障害	講義			
5	老化と死 細胞の老化 個体の死	講義			
6	先天異常と遺伝子異常について 先天異常 奇形 遺伝疾患	講義			
7	腫瘍 定義 分類 発生病理 悪性腫瘍 診断 治療	講義			
8	終講試験			(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学 医学書院				
評価方法	筆記試験				

【専門基礎分野】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
病態生理学 I (呼吸・循環)	1	30	1	2
講師	呼吸器内科医師・循環器科医師			
講義目的	呼吸・循環系疾患の病因・病態・症状の特徴と検査・治療について理解し、看護実践における健康・疾病に関する観察力・判断力の根拠とする。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	呼吸器系の構造 症状 理学所見 検査	講義		
2	呼吸器系の疾患と治療 気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患(COPD)	講義		
3	呼吸器系の疾患と治療 気胸 結核	講義	(45分)	
4	呼吸器系の疾患と治療 結核 非結核性抗酸菌症	講義		
5	呼吸器系の疾患と治療 間質性肺炎 肺血栓塞栓症	講義		
6	呼吸器系の疾患と治療 肺炎総論	講義		
7	呼吸器系の疾患と治療 誤嚥性肺炎 インフルエンザ	講義		
8	呼吸器系の疾患と治療 肺癌	講義		
9	心臓の解剖と病態生理 レニン・アンギオテンシン系 心音(I音 II音)	講義		
10	循環器疾患の症状 狭心症	講義		
11	循環器疾患の症状 心筋梗塞 心不全	講義		
12	循環器系の疾患と症状 不整脈	講義		
13	循環器系の疾患と症状 心筋疾患 弁膜症 先天性心疾患	講義		
14	循環器系の疾患と症状 血管の病気	講義		
15	復習	講義		
16	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1]病理学 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[2]呼吸器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[2]循環器 医学書院			
評価方法	筆記試験			

【専門基礎分野】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
病態生理学Ⅱ(脳神経・運動)	1	30	1	2
講師	脳神経外科医師・神経内科医師・整形外科医師			
講義目的	脳神経・運動系疾患の病因・病態・症状の特徴と検査・治療について理解し、看護実践における健康・疾病に関する観察力・判断力の根拠とする。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	運動の系の疾患 症状と病態生理 診断に用いる検査	講義		
2	運動系の疾患 骨折	講義		
3	運動系の疾患 膝関節と股関節疾患	講義		
4	運動系の疾患 関節リウマチ	講義		
5	運動系の疾患 脊椎の疾患	講義		
6	運動系の疾患 先天性疾患 骨軟部腫瘍	講義		
7	運動系の疾患 骨粗しょう症	講義		
8	脳神経系の疾患 神経 診断 治療	講義		
9	脳神経の疾患 意識障害 高次機能障害 運動感覚自律性障害	講義		
10	脳神経の疾患 脳血管障害	講義		
11	脳神経の疾患 脳腫瘍 頭部外傷	講義		
12	脳神経の疾患 水頭症 髄液減少症	講義	(45分)	
13	脳神経の疾患 脳炎 パーキンソン病 筋萎縮性側索硬化症	講義		
14	脳神経の疾患 多発性硬化症 視神経脊髄炎 筋疾患 末梢神経疾患	講義		
15	脳神経の疾患 アルツハイマー病	講義		
16	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7] 脳神経 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[10] 運動器 医学書院			
評価方法	筆記試験			

【専門基礎分野】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
病態生理学Ⅲ(消化・腎・泌尿)	1	30	1	2
講師	消化器外科医師・泌尿器科医師・腎臓内科医師			
講義目的	消化器・腎・泌尿器系疾患の病因・病態・症状の特徴と検査・治療について理解し、看護実践における健康・疾病に関する観察力・判断力の根拠とする。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	消化器の構造と機能	講義		
2	消化器系の疾患 症状と病態生理	講義		
3	消化器系の疾患 検査と治療	講義		
4	消化器系の疾患と治療	講義		
5	乳腺の疾患	講義		
6	消化器系の疾患と治療 食道・胃・十二指腸疾患	講義		
7	消化器系の疾患と治療 腸・腹膜疾患	講義		
8	消化器系の疾患と治療 肝臓・胆嚢疾患	講義		
9	消化器系の疾患と治療 肝臓の疾患 急性腹症 腹部外傷	講義		
10	泌尿器の構造と機能 症状と病態生理	講義		
11	泌尿器系の疾患 症状と検査 尿路の腫瘍	講義		
12	泌尿器疾患と治療 尿路感染症 腎移植	講義		
13	腎・泌尿器疾患と治療 腎臓病(AKI CKD) 腎代替療法	講義		
14	腎・泌尿器疾患と治療 腎炎とネフローゼ 診断法 腎生検	講義		
15	腎・泌尿器疾患と治療 腎炎とネフローゼ 病理 治療	講義	(45分)	
16	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1]病理学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[5]消化器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[9]女性生殖器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[8]腎・泌尿器 医学書院			
評価方法	筆記試験			

【専門基礎分野】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
病態生理学Ⅳ(免疫・内分泌・生殖)	1	30	1	2
講師	リウマチ科医師・内分泌代謝内科医師・産婦人科医師			
講義目的	免疫・内分泌・代謝・女性生殖器系疾患の病因・病態・症状と検査・治療について理解し、看護実践における健康・疾病に関する観察力・判断力の根拠とする。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	免疫系の疾患 免疫のしくみ 検査と治療 アレルギー疾患	講義		
2	免疫系の疾患 症状と病態生理 自己免疫疾患とその機序	講義		
3	免疫系の疾患 関節リウマチ 全身性エリテマトーデス	講義		
4	免疫系の疾患 膠原病	講義		
5	免疫系の疾患 感染症	講義		
6	女性生殖器系の疾患 月経のメカニズムと不妊症	講義		
7	女性生殖器系の疾患 子宮筋腫と絨毛性疾患	講義		
8	女性生殖器系の疾患 子宮頸がんと子宮体癌	講義		
9	女性生殖器系の疾患 卵巣腫瘍と卵巣がん	講義		
10	女性生殖器系の疾患 外陰・膣の疾患と骨盤臓器脱	講義	(45分)	
11	代謝系の疾患 下垂体 甲状腺疾患	講義		
12	代謝系の疾患 糖尿病	講義		
13	代謝系の疾患 糖尿病	講義		
14	代謝系の疾患 副甲状腺 副腎 性腺 MEN	講義		
15	代謝系の疾患 脂質異常 高尿酸血症 メタボリックシンドローム	講義		
16	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1]病理学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[6]内分泌・代謝 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[9]女性生殖器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[11]アレルギー 膠原病 感染症 医学書院			
評価方法	筆記試験			

【専門基礎分野】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
病態生理学Ⅴ(血液・感覚)	1	30	1	2
講師	血液内科医師・耳鼻咽喉科医師・視能訓練技師・皮膚科医師・歯科医師			
講義目的	血液・感覚器系・歯・口腔疾患の病因・病態・症状と検査・治療について理解し、看護実践における健康・疾病に関する観察力・判断力の根拠とする。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	血液学総論	講義		
2	血液の疾患 症状と病態生理 検査と治療 HIV感染症	講義		
3	血液の疾患 症状と病態生理 検査と治療 貧血	講義		
4	血液の疾患 症状と病態生理 検査と治療 急性白血病	講義		
5	血液の疾患 症状と病態生理 検査と治療 悪性リンパ腫 多発性骨髄腫	講義		
6	血液の疾患 症状と病態生理 検査と治療 骨髄増殖性腫瘍	講義		
7	血液凝固系疾患 症状と病態生理 検査と治療	講義		
8	耳鼻の疾患 症状と病態生理 診断に用いる検査	講義		
9	耳鼻の疾患 鼻咽喉頭 唾液腺 気管 嚥下について	講義		
10	眼の疾患と治療 症状と病態生理 診断に用いる検査	講義		
11	眼の疾患と治療	講義		
12	皮膚科の総論	講義		
13	皮膚の疾患 症状と病態生理 検査と治療	講義		
14	歯科・口腔総論	講義		
15	歯科・口腔疾患 症状と病態生理 検査と治療	講義	(45分)	
16	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1]病理学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[4]血液・造血器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[11]アレルギー 膠原病 感染症 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[12]皮膚 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[13]眼 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[14]耳鼻咽喉 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[15]歯・口腔 医学書院			
評価方法	筆記試験			

【専門基礎分野】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
薬理学		1	15	1	2
講師	大学講師				
講義目的	薬物の作用や投与経路、人体への影響および薬物の取り扱い、管理について学ぶ。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	薬とは 薬の使用目的 薬理学とは 看護師の役割	講義			
2	受容体 薬物動態 投与経路	講義			
3	投与経路 薬物の吸収・分布・代謝・排泄	講義			
4	薬物の分布容積 全身クリアランス 定常状態・TDM 相互作用 個人差に影響する因子	講義			
5	薬物の用量 副作用 アレルギー反応	講義			
6	薬と法律 新薬の開発	講義			
7	ステロイド剤 アスピリン製剤 消毒薬の希釈計算	講義			
8	終講試験		(45分)		
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[2]薬理学				
評価方法	筆記試験				

【専門基礎分野】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
社会福祉 I	1	15	2	1
講師	社会福祉士			
講義目的	社会福祉の制度と政策を理解し、国民の福祉ニーズと対応方法として社会資源の活用を学ぶ。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向	講義		
2	社会保障制度と社会福祉 社会福祉制度・社会福祉の法制度	講義		
3	介護保障 介護保険制度創設の背景と介護保障の歴史 介護保険制度の概要	講義		
4	介護保障 介護サービスについて 介護保険以外の資源 今後の課題と展望	講義		
5	医療保障 医療保障制度の沿革 医療保障制度の構造と体系 健康保険と国民健康保険	講義		
6	医療保障 高齢者医療制度 保険診療のしくみ 公費負担医療 国民医療費	講義		
7	所得保障 所得保障制度のしくみ 年金保険制度 社会手当 労働保険制度	講義		
8	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉			
評価方法	筆記試験			

【専門基礎分野】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
社会福祉Ⅱ	1	30	2	1
講師	社会福祉士			
講義目的	社会福祉活動の実践を事例を通して学ぶ。併せて、社会福祉活動と社会環境の変化との関連を学ぶ。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	オリエンテーション	講義		
2	公的扶助 貧困・低所得問題と公的扶助制度 生活保護制度のしくみ 生活保護の4原則 生活保護実施上の原則	講義		
3	公的扶助 生活保護制度のしくみ 生活保護の種類と方法、費用	講義		
4	公的扶助 生活保護制度のしくみ 生活保護の実施 被保護者の義務と権利 低所得者対策	講義		
5	社会福祉の歴史 福祉史の枠組み 福祉史の3段階 前近代の救済の諸相	講義		
6	社会福祉の歴史 近代の救済の諸相 現代社会への構造変化と生活支援 戦後の社会福祉の再生	講義		
7	高齢者福祉	講義		
8	障害者とは 障害者福祉	講義		
9	障害者に関する制度と福祉サービス	講義		
10	コミュニケーションについて	講義		
11	児童家庭福祉 母子に関する法律と仕組み	講義		
12	児童家庭福祉 児童の福祉と保健(事例から考える)	講義		
13	社会福祉実践と医療・看護 援助技術の方法	講義		
14	まとめと振り返り	講義	(45分)	
15	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉			
評価方法	筆記試験			

【専門基礎分野】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
関係法規	1	30	2	2
講師	学校事務長(病院事務部長)・専任教員 病院および行政での業務経験を活かし、講義により教授する。			
講義目的	保健医療福祉に関する法律について理解し、看護上の法的責任を学ぶ。さらに健康な生活を維持するための対象の権利に対する理解を深める。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	法の概念 法とは 法の種類 医事法 目的 定義	講義		
2	医事法 医療関係資格法	講義		
3	医事法 保健医療福祉資格法	講義		
4	医事法 医療を支える法	講義		
5	医事法 移植医療 人の死 緊急時の医療に関する法	講義		
6	保健衛生法 共通保健法 分野別保健法	講義		
7	保健衛生法 感染症に関する法 食品に関する法	講義		
8	薬事法規 環境衛生法	講義		
9	社会保険法 社会福祉関連法規 労働関連法規	講義		
10	労働関連法規 環境法	講義	(45分)	
11	保健師助産師看護師法 目的 定義 法の構造と附属法令	講義		
12	保健師助産師看護師法 免許 業務	講義		
13	保健師助産師看護師法 義務 試験	講義		
14	保健師助産師看護師法 学校養成所 医療過誤 罰則等	講義		
15	看護師等の人材確保の促進に関する法律 まとめ	講義		
16	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[4] 看護関係法令 医学書院 看護六法 新日本法規			
評価方法	筆記試験			

【専門基礎分野】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
健康支援論	1	15	2	1
講師	副院長			
講義目的	現代の保健・医療・福祉のかかえている問題点とその問題発生 배경を知ることにより専門職として社会に貢献する方向性・視点について学ぶ。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	健康な生活と保健・医療・福祉 健康・幸福・QOLとは 患者中心の医療と患者の権利 患者の権利とインフォームドコンセントの関係	講義		
2	患者中心の医療と患者の権利 患者の権利 患者中心の医学 インフォームドコンセント	講義		
3	医療の動向 人口ピラミッド 少子高齢化 介護・在宅医療	講義		
4	医療の動向 社会補償費 保険制度 診療報酬	講義		
5	医療の動向 診療情報管理学 DPC 医療看護必要度 診療録 医療安全	講義		
6	高度先進医療の導入と医の倫理 先進医療 出生前診断 混合診療 生命維持装置	講義		
7	高度先進医療の導入と医の倫理 脳死 尊厳死 臓器移植	講義		
8	終講試験		(45分)	
テキスト	健康支援と社会保障① 健康と社会・生活			
評価方法	筆記試験			

【専門基礎分野】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
公衆衛生学 I		1	30	3	1
講師	大学教授				
講義目的	健康増進、疾病の予防と共に公衆衛生に関連した統計情報を生かし、疾病の構造の変化や高齢の在宅療養者の問題などの公衆衛生活動を学ぶ。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	公衆衛生とは 公衆衛生の概念 公衆衛生の歴史	講義			
2	健康と環境、疫学的方法 健康の多要因 集団検診	講義			
3	健康と環境、疫学的方法 疫学的因果関係 臨床疫学とエビデンス	講義			
4	感染症とその予防 感染症とは 感染症の成立要因 感染症の流行	講義			
5	感染症とその予防 感染症の種類 感染症の動向と感染症法の制定 感染症予防の基本 感染症予防対策	講義			
6	食品保健と栄養 食品の安全	講義			
7	食品保健と栄養 食品衛生管理 国民の栄養	講義			
8	生活環境の保全 わが国の健康保全対策 地球環境汚染	講義			
9	生活環境の保全 感覚公害 医療介護保障制度 医療保障 医療保険	講義			
10	医療介護保障制度 高齢者医療制度 公費負担医療	講義			
11	医療介護保障制度 介護保険 国民医療費	講義			
12	学校保健	講義			
13	健康教育とヘルスプロモーション	講義			
14	精神保健福祉	講義			
15	まとめ	講義	(45分)		
16	終講試験		(45分)		
テキスト	わかりやすい公衆衛生学 ニューヴェル・ヒロカワ				
評価方法	筆記試験				

【専門基礎分野】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
公衆衛生学Ⅱ		1	15	3	1・2
講師	大学教授				
講義目的	環境問題等から公衆衛生活動の実際を学ぶ。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	生活習慣病 生活習慣病の概念と現状	講義			
2	生活習慣病 生活習慣病対策	講義			
3	難病対策	講義			
4	母子保健 母子保健法の歴史的経過 母子保健の現状	講義			
5	地域保健活動 地域保健法の理念と指針 医療サービスの供給体制 保健・医療従事者 救急医療 災害医療 ヘルスサービスの方向	講義			
6	産業保健 労働衛生管理のしくみ	講義			
7	産業保健 職業病	講義			
8	終講試験		(45分)		
テキスト	わかりやすい公衆衛生学 ヌーヴェル・ヒロカワ				
評価方法	筆記試験				

【専門基礎分野】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
臨床薬理学		1	30	2	1
講師	薬剤師				
講義目的	各薬物の特徴、作用機序、取り扱いについて学ぶ。また臨床で行われる服薬指導の実際を学ぶ。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	漢方薬 消毒薬 看護業務に必要な知識	講義			
2	抗感染症薬	講義			
3	末梢での神経活動に作用する薬物	講義			
4	中枢神経系に作用する薬物	講義			
5	中枢神経系に作用する薬物	講義			
6	抗アレルギー薬・抗炎症薬	講義			
7	物質代謝に作用する薬物	講義			
8	抗がん薬	講義			
9	免疫治療薬	講義			
10	呼吸器・消化器・生殖系に作用する薬物	講義			
11	呼吸器・消化器・生殖系に作用する薬物	講義			
12	心臓・血管系に作用する薬物	講義			
13	心臓・血管系に作用する薬物	講義			
14	皮膚科用薬・眼科用薬	講義			
15	救急の際に使用される薬物 輸血製剤・輸血剤	講義		(45分)	
16	終講試験			(45分)	
テキスト	系統別看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[3]薬理学 系統別看護学講座 別巻 臨床薬理学				
評価方法	筆記試験				

【専門基礎分野】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
微生物学	1	30	1	1
講師	小児科医師			
講義目的	病原微生物分類、特徴、生体に及ぼす影響、消毒法や検査方法について理解し、正しい感染予防の方法を学ぶ。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	総論 微生物とは 感染症の歴史	講義		
2	感染症の特徴を知る 感染症の成立 市中感染	講義		
3	感染症の特徴を知る 医療関連感染 日和見感染 感染対策の基本を知る 標準予防策	講義		
4	感染対策の基本を知る 標準予防策 感染経路別予防策	講義		
5	感染対策の基本を知る 感染性廃棄物 消毒 滅菌	講義		
6	感染対策の基本を知る 器具の滅菌、消毒、免疫系の概要	講義		
7	感染対策の基本を知る ワクチン	講義		
8	抗微生物薬の種類と特徴	講義		
9	抗微生物薬の種類と特徴	講義		
10	病原体の特徴を知る 細菌 真菌 原虫 ウイルス	講義		
11	病原体の特徴を知る 常在菌による感染症 潜伏感染と回帰発症	講義		
12	病原体の特徴を知る 口腔 気道 嘔吐物 便中に排出される微生物	講義		
13	病原体の特徴を知る 皮膚 性行為によって感染する微生物 血液 体液中 尿中母乳中に含まれる微生物	講義		
14	病原体の特徴を知る 髄膜炎、脳炎を起こす微生物 環境中に存在する微生物	講義		
15	感染症の現状と対策	講義	(45分)	
16	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[4]微生物学 医学書院			
評価方法	筆記試験			